

～江戸時代～

徳用クヤダ遺跡から南へ約 100mの所には北国街道ほっこくかいどうが通っています。この街道は慶長六年（1601）に加賀藩第二代藩主前田利長としながによって整備され、その後、徳用村を走る街道は徳用村が維持管理いじかんりするよう命じられました。北国街道は現在も一部で道路としての形をとどめ、地域の人々に使用されています。

また、江戸時代前期の徳用村では特産物として『まくわ瓜うり』が盛んに栽培さいばいされました。まくわ瓜は『田中瓜たなかうり』として金沢で評判になりましたが、育てることが難しく江戸時中期になると栽培されなくなりました。しかし、当時の栽培の様子が見える絵図が残るなど、親しみをもって食べられていたようです。



北国街道ルート



現在利用されている北国街道